

FACTBOOK

証券コード：7467/東証1部、名証1部
 萩原電気ホールディングス株式会社
 2022年3月期
 第2四半期累計期間
 (2021年4月1日～2021年9月30日)



目次

会社概要	1-2
連結 貸借対照表	3
連結 損益計算書/セグメント情報等	4
連結 キャッシュ・フロー計算書	5
連結 収益性指標	6
連結 収益性・効率性指標	7
連結 効率性・安全性指標	8
株式情報	9-10
経営ビジョン	11
事業紹介	12-16
サステナビリティ	17
会社概要（国内事業会社）	18

企業情報

商号	萩原電気ホールディングス株式会社
所在地	〒461-8520 名古屋市東区東桜二丁目2番1号
代表者名	代表取締役会長 岩井 三津雄 代表取締役社長 木村 守孝
創業	1948年3月31日
資本金	4,361,243,696円（2021年9月末日現在）
従業員数	連結：607名（2021年9月末日現在）※臨時従業員を除く
事業内容	電子デバイスおよび電子機器の販売ならびにFA機器の製造販売を行う グループ企業の経営戦略策定および管理
子会社	萩原エレクトロニクス株式会社 萩原テクノソリューションズ株式会社

グループ組織体制

2021年9月末日現在



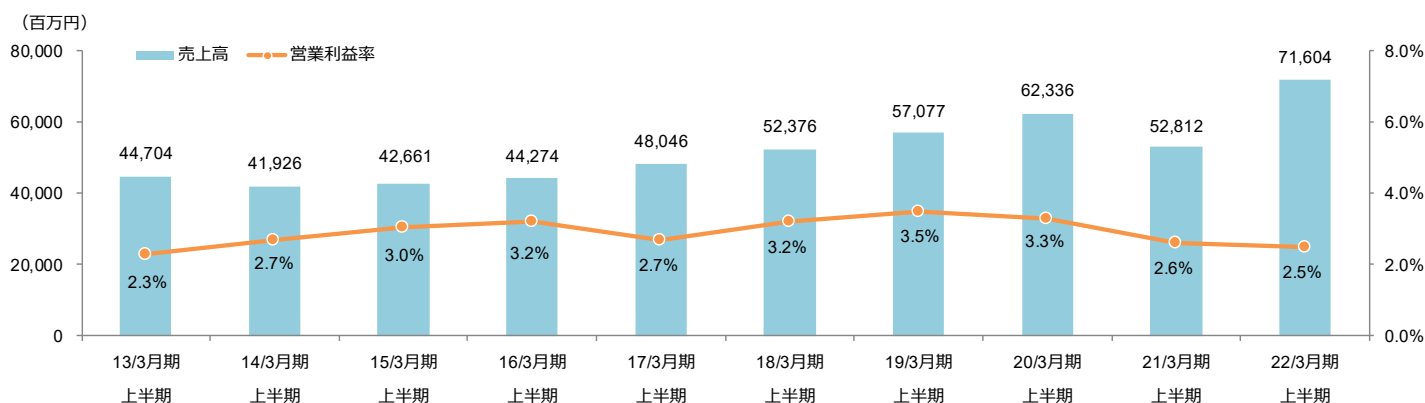
沿革



グループネットワーク



業績の推移



注：当社は、2018年4月1日付で持株会社体制へ移行いたしました。
当ファクトブックにおける18/3月期までの実績は移行前の旧萩原電気株式会社の数値を記載しております。

(百万円)	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
	上半期末	上半期末	上半期末	上半期末	上半期末
資産の部					
資産合計	53,981	59,316	62,210	64,631	73,813
流動資産	49,286	54,194	57,126	59,326	68,291
現金及び預金	5,424	7,013	8,389	10,713	9,345
受取手形及び売掛金	26,224	29,750	31,636	28,372	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	—	—	—	20,914
電子記録債権	2,159	1,980	1,512	1,673	13,199
商品及び製品	13,861	14,154	14,250	17,401	21,703
仕掛品	422	460	420	468	535
原材料及び貯蔵品	228	274	286	281	389
その他	968	564	633	420	2,262
貸倒引当金	△ 3	△ 2	△ 3	△ 2	△ 59
固定資産	4,695	5,122	5,084	5,304	5,521
有形固定資産	2,608	2,664	2,677	2,717	2,747
無形固定資産	105	121	202	191	168
投資その他の資産	1,980	2,336	2,204	2,395	2,605
その他	1,981	2,336	—	—	2,605
貸倒引当金	△ 0	△ 0	—	—	△ 0

(百万円)	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
	上半期末	上半期末	上半期末	上半期末	上半期末
負債の部					
負債合計	27,420	28,695	27,986	29,035	35,968
流動負債	24,086	24,576	22,418	22,344	30,349
支払手形及び買掛金	11,286	11,482	11,591	10,782	14,773
電子記録債務	2,413	2,769	2,161	1,983	3,204
短期借入金	6,590	6,835	5,770	5,225	6,483
1年内返済予定の長期借入金	1,756	850	225	1,800	2,275
未払法人税等	488	783	724	537	580
受注損失引当金	56	—	—	—	—
その他	1,494	1,856	1,945	2,014	3,032
固定負債	3,333	4,118	5,568	6,690	5,619
長期借入金	2,875	3,800	5,175	6,225	5,250
退職給付に係る負債	156	79	181	233	—
その他	301	239	212	232	369
純資産の部					
純資産合計	26,561	30,620	34,223	35,596	37,845
株主資本	26,044	30,126	31,992	33,365	35,230
資本金	3,301	4,361	4,361	4,361	4,361
資本剰余金	3,792	4,861	4,867	4,868	4,872
利益剰余金	19,305	21,246	23,096	24,454	26,302
自己株式	△ 354	△ 343	△ 332	△ 319	△ 305
その他の包括利益累計額	516	475	176	153	518
その他有価証券評価差額金	396	361	268	313	371
為替換算調整勘定	225	206	107	103	247
退職給付に係る調整累計額	△ 105	△ 92	△ 199	△ 263	△ 100
非支配株主持分	—	18	2,054	2,078	2,096
負債純資産合計	53,981	59,316	62,210	64,631	73,813

連結 損益計算書

(百万円)	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
	上半期	上半期	上半期	上半期	上半期
売上高	52,376	57,077	62,336	52,812	71,604
売上原価	47,326	51,283	56,179	47,518	65,027
売上総利益	5,050	5,794	6,157	5,293	6,576
販売費及び一般管理費	3,398	3,820	4,114	3,913	4,822
営業利益	1,651	1,974	2,043	1,380	1,754
営業外収益	72	53	60	92	46
受取利息	3	1	2	6	10
受取配当金	8	10	9	10	11
為替差益	11	17	—	—	—
投資有価証券評価益	—	—	—	52	—
受取保険金	—	—	25	0	—
保険解約返戻金	30	0	—	—	—
その他	18	23	22	22	25
営業外費用	43	51	101	98	78
支払利息	18	20	24	16	18
為替差損	—	—	38	58	41
投資有価証券評価損	—	—	28	—	—
売上債権売却損	23	17	7	12	—
その他	1	13	2	10	18
経常利益	1,680	1,975	2,001	1,373	1,723
特別利益	—	—	—	—	77
投資有価証券売却益	—	—	—	—	77
特別損失	1	1	3	0	5
固定資産処分損	1	1	0	0	5
会員権評価損	—	—	2	—	—
投資有価証券評価損	—	0	1	—	—
税金等調整前四半期純利益	1,678	1,974	1,998	1,373	1,795
法人税等	535	634	663	469	622
四半期純利益	1,142	1,340	1,335	904	1,172
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3	28	27	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,142	1,336	1,307	876	1,145

セグメント情報等

セグメント別業績

(百万円)	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
	上半期	上半期	上半期	上半期	上半期
売上高	52,376	57,077	62,336	52,812	71,604
デバイス事業	43,910	46,687	50,824	43,292	61,138
ソリューション事業	8,466	10,390	11,512	9,519	10,466
セグメント利益	1,651	1,974	2,043	1,380	1,754
デバイス事業	2,008	1,420	1,406	916	1,188
ソリューション事業	412	553	636	463	566
調整額	△ 769	—	—	—	—

注：2019年3月期上半期より、セグメント利益の算定方法を変更しております。
これに伴い当社（持株会社）に係る全社費用及び収益を、各セグメントに配賦しております。

主要ユーザー別売上高

(百万円)	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
	上半期	上半期	上半期	上半期	上半期
売上高	52,376	57,077	62,336	52,812	71,604
株式会社デンソー	30,422	32,773	35,333	30,684	37,759
株式会社東海理化電機製作所	2,603	2,150	2,262	1,743	1,973
トヨタ自動車株式会社	3,581	4,262	4,425	1,892	1,436
その他	15,770	17,892	20,315	18,492	30,434

注：株式会社デンソー等の海外子会社に対する売上高は、その他に含まれております。

(百万円)	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期
	上半期	上半期	上半期	上半期	上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー					
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 1,768	324	908	1,245	△ 1,107
税金等調整前四半期純利益	1,678	1,974	1,998	1,373	1,795
減価償却費	84	86	96	119	137
固定資産除売却損益 (△は益)	1	1	0	0	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 1	0	△ 0	0	56
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△ 28	△ 30	△ 21	△ 17	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	—	—	—	△ 46
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	55	△ 11	—	—	—
受取利息及び受取配当金	△ 11	△ 12	△ 11	△ 16	△ 21
支払利息	18	20	24	16	18
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	—	—	—	△ 77
保険解約返戻金	△ 30	—	—	—	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,545	365	1,455	4,368	6,149
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 3,010	△ 1,409	△ 3	△ 686	△ 5,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 916	△ 248	△ 1,133	△ 3,224	△ 1,980
その他	△ 567	76	△ 481	△ 221	△ 1,000
小計	△ 1,181	813	1,922	1,712	△ 554
利息及び配当金の受取額	11	12	12	16	22
利息の支払額	△ 17	△ 20	△ 24	△ 15	△ 20
法人税等の支払額	△ 580	△ 480	△ 1,001	△ 468	△ 555
投資活動によるキャッシュ・フロー					
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 6	△ 292	△ 133	△ 43	28
定期預金の払戻による収入	—	70	—	—	—
定期預金の預入による支出	—	△ 200	—	—	—
投資有価証券の取得による支出	△ 21	△ 15	△ 5	△ 5	△ 3
投資有価証券の売却による収入	—	—	—	64	118
有形固定資産の取得による支出	△ 43	△ 111	△ 80	△ 79	△ 70
無形固定資産の取得による支出	△ 24	△ 39	△ 29	△ 43	△ 21
保険積立金の解約による収入	86	—	—	—	—
その他	△ 2	4	△ 17	21	5
財務活動によるキャッシュ・フロー					
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	1,770	474	179	1,777	567
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,081	252	233	77	1,134
長期借入れによる収入	500	700	1,250	2,400	1,300
長期借入金の返済による支出	△ 432	△ 893	△ 800	△ 150	△ 1,350
自己株式の取得による支出	△ 0	—	—	△ 0	△ 0
株式の発行による収入	—	879	—	—	—
配当金の支払額	△ 366	△ 467	△ 485	△ 482	△ 442
非支配株主からの払込みによる収入	—	15	—	—	—
非支配株主への配当金の支払額	—	—	△ 5	△ 34	△ 34
その他	△ 12	△ 11	△ 13	△ 32	△ 39
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16	△ 32	△ 73	△ 20	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 20	473	881	2,959	△ 368
現金及び現金同等物の期首残高	5,375	6,540	7,508	7,753	9,713
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,354	7,013	8,389	10,713	9,345

(%)	18/3月期 上半期	19/3月期 上半期	20/3月期 上半期	21/3月期 上半期	22/3月期 上半期
売上高総利益率	9.6	10.2	9.9	10.0	9.2
売上高営業利益率	3.2	3.5	3.3	2.6	2.5
売上高経常利益率	3.2	3.5	3.2	2.6	2.4
売上高四半期純利益率	2.2	2.3	2.1	1.7	1.6

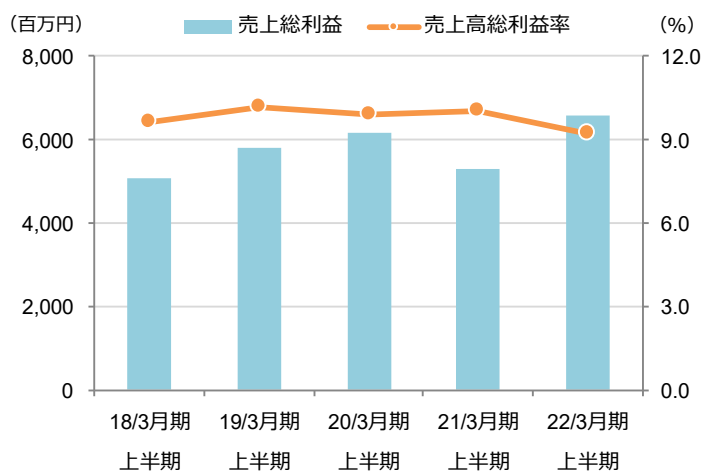
売上高総利益率 = 売上総利益 ÷ 売上高

売上高営業利益率 = 営業利益 ÷ 売上高

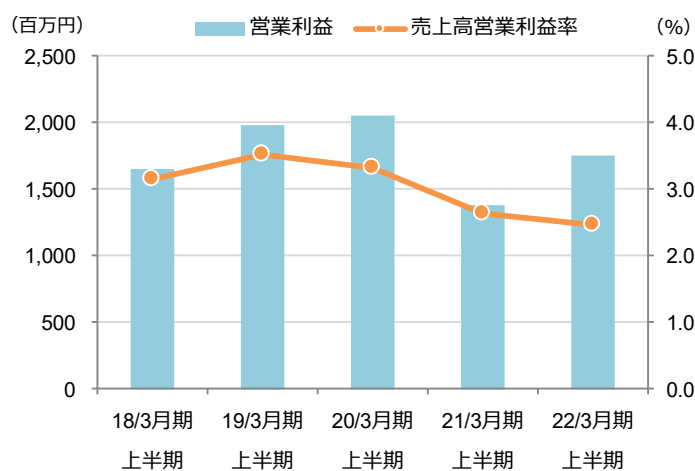
売上高経常利益率 = 経常利益 ÷ 売上高

売上高四半期純利益率 = 親会社株主に帰属する四半期純利益 ÷ 売上高

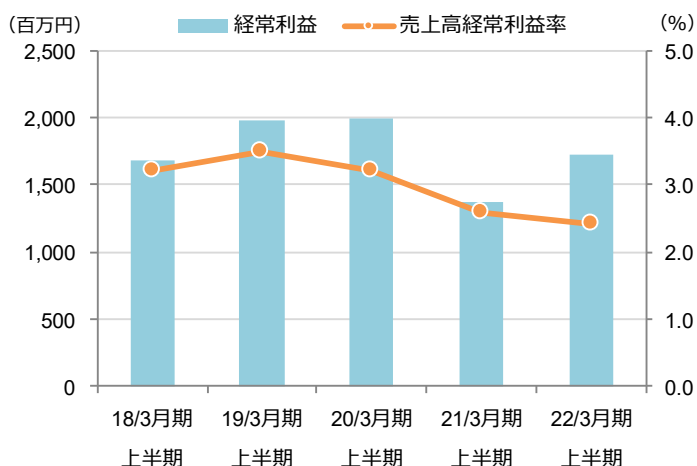
売上高総利益率



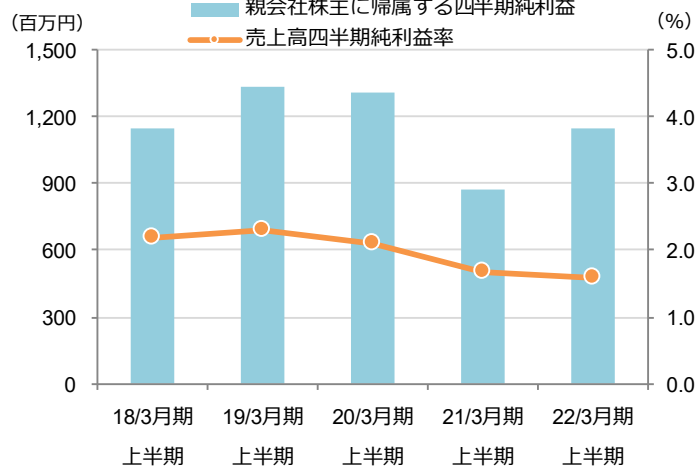
売上高営業利益率



売上高経常利益率



売上高四半期純利益率



	18/3月期 上半期	19/3月期 上半期	20/3月期 上半期	21/3月期 上半期	22/3月期 上半期
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	89.3	97.7	84.1	83.1	97.4
期末従業員数 (人)	517	547	581	598	607
期末臨時従業員数 (人)	42	49	56	64	81
1人当たり売上高 (万円)	9,370	9,577	9,786	7,978	10,408
1人当たり経常利益 (万円)	301	332	314	208	250
1人当たり四半期純利益 (万円)	204	224	205	132	166

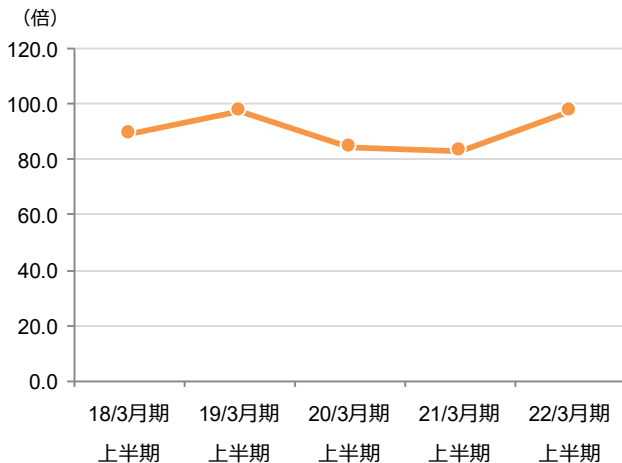
インタレスト・カバレッジ・レシオ = (営業利益 + 受取利息 + 受取配当金) ÷ 支払利息

1人当たり売上高 = 売上高 ÷ (期末従業員数 + 期末臨時従業員数)

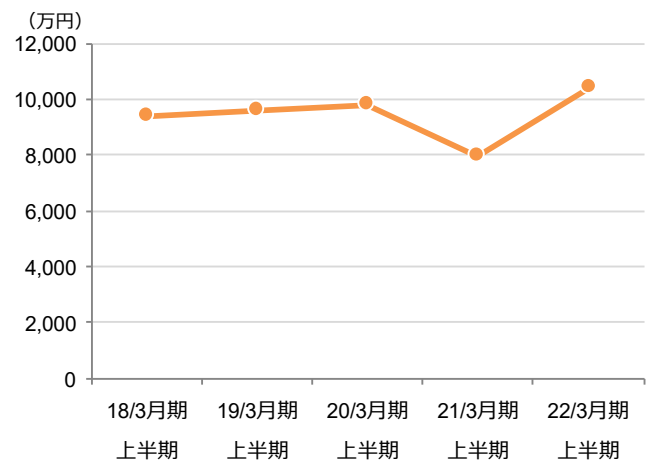
1人当たり経常利益 = 経常利益 ÷ (期末従業員数 + 期末臨時従業員数)

1人当たり四半期純利益 = 親会社株主に帰属する四半期純利益 ÷ (期末従業員数 + 期末臨時従業員数)

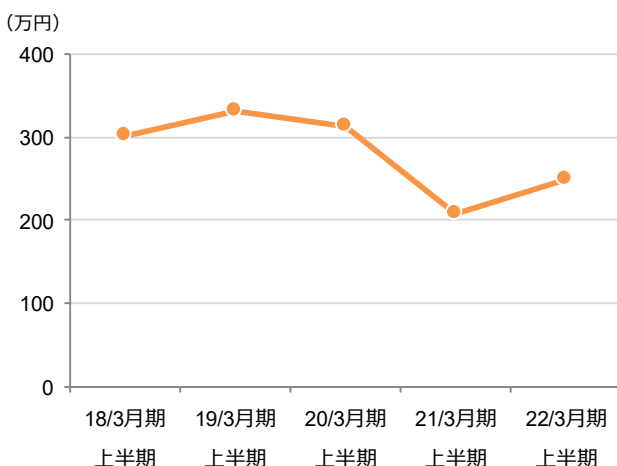
インタレスト・カバレッジ・レシオ



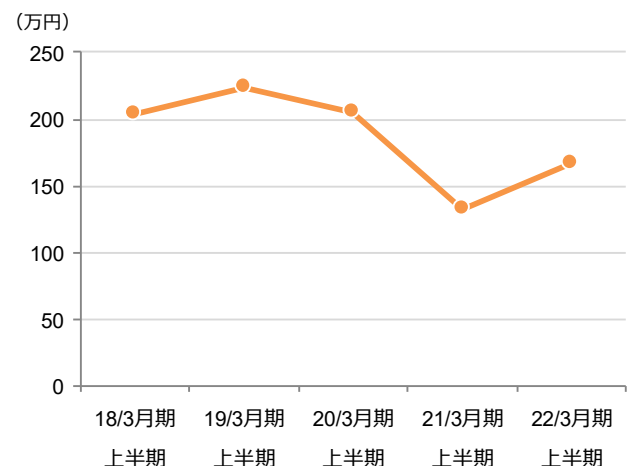
1人当たり売上高



1人当たり経常利益



1人当たり四半期純利益



(%)	18/3月期 上半期	19/3月期 上半期	20/3月期 上半期	21/3月期 上半期	22/3月期 上半期
自己資本比率	49.2	51.6	51.7	51.9	48.4
有利子負債依存度	20.8	19.4	18.0	20.5	19.0
当座比率	140.4	157.6	185.3	182.4	143.2
流動比率	204.6	220.5	254.8	265.5	225.0
固定比率	17.7	16.7	15.8	15.8	15.4
固定長期適合率	15.7	14.8	13.5	13.2	13.3

自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

有利子負債依存度 = 有利子負債 ÷ 総資産

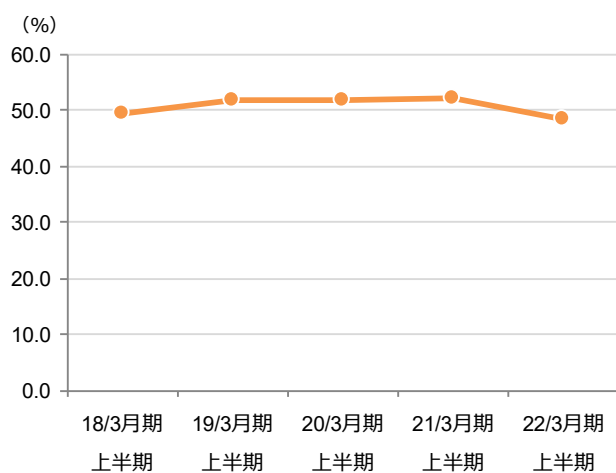
当座比率 = 当座資産 ÷ 流動負債

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

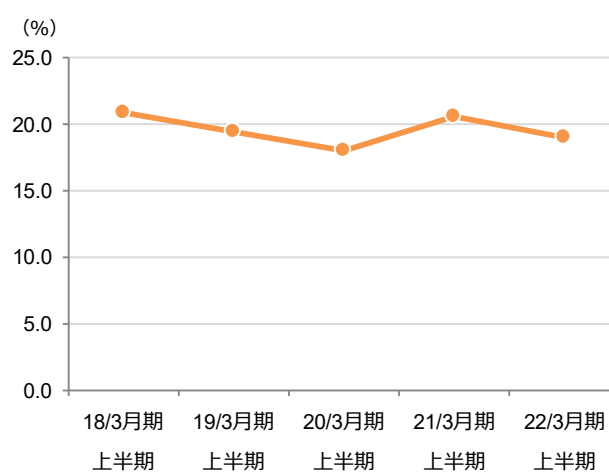
固定比率 = 固定資産 ÷ 自己資本

固定長期適合率 = 固定資産 ÷ (自己資本 + 固定負債)

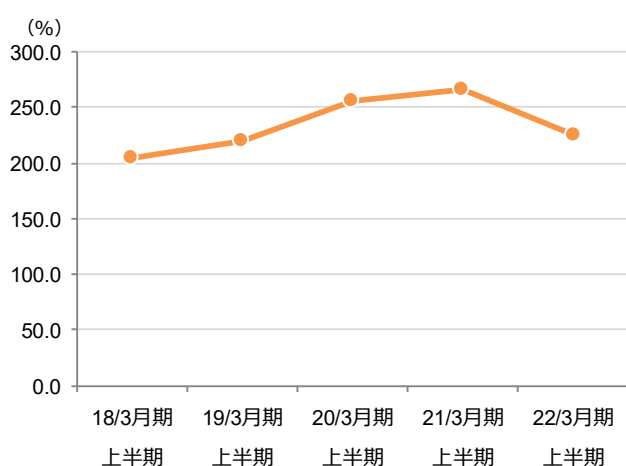
自己資本比率



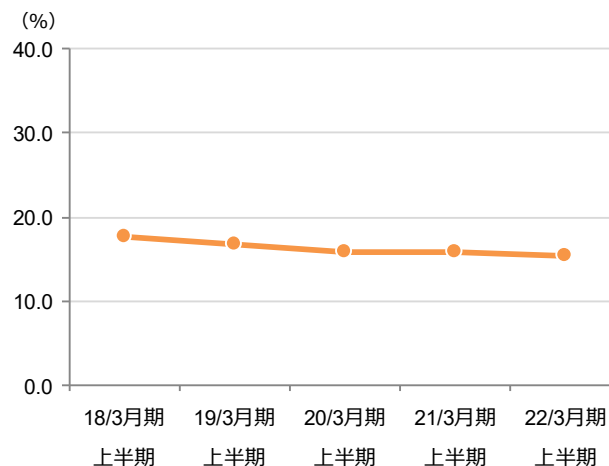
有利子負債依存度



流動比率



固定比率



1 株当たり指標

(円)	18/3月期 上半期	19/3月期 上半期	20/3月期 上半期	21/3月期 上半期	22/3月期 上半期
期末株価	3,275	3,390	2,680	2,282	2,211
株価レンジ (直近12ヶ月の引値ベース)	1,843-3,275	2,892-3,990	2,557-3,385	1,860-2,932	2,155-2,830
1株当たり四半期純利益	140.66	153.25	147.98	99.20	129.48
1株当たり配当金	40.00	50.00	50.00	30.00	40.00

その他指標

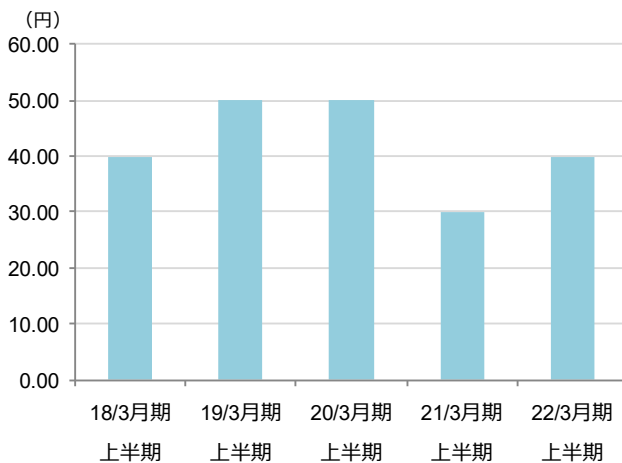
	18/3月期 上半期	19/3月期 上半期	20/3月期 上半期	21/3月期 上半期	22/3月期 上半期
配当金総額 (百万円)	325	441	441	265	354
配当性向 (%)	28.4	32.6	33.8	30.2	30.9
株価収益率 (PER) (倍)	11.64	11.06	9.06	11.50	8.54
期中平均株式数 (千株)	8,125	8,722	8,833	8,839	8,846
株主数 (人)	2,840	2,794	2,825	3,056	2,963

注：2018年3月期下期に新株予約権を発行しております。

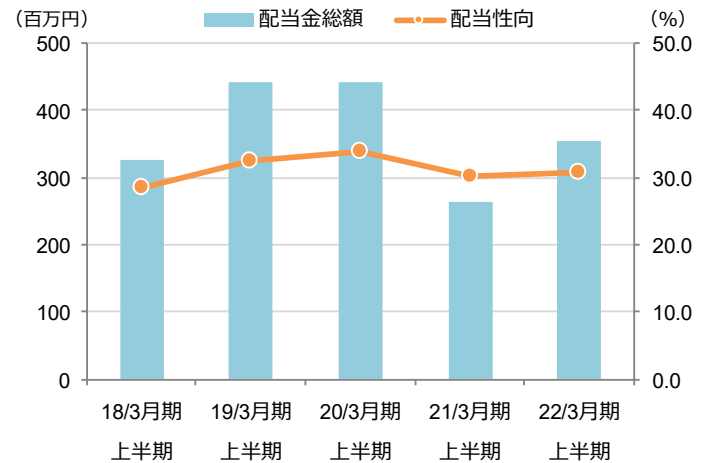
配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり四半期純利益

株価収益率 (PER) = 期末株価 ÷ (1株当たり四半期純利益 × 2)

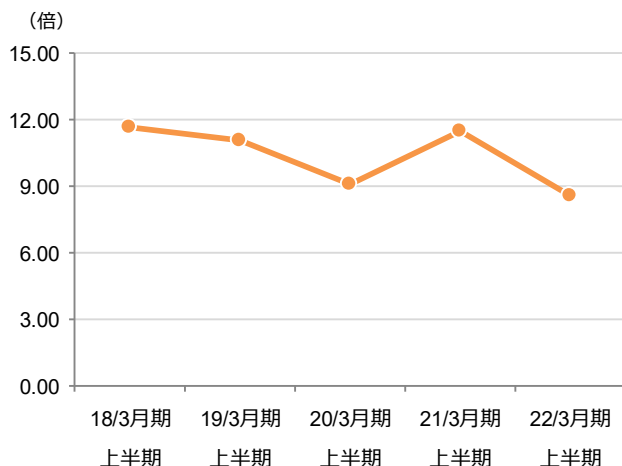
1株当たり配当金



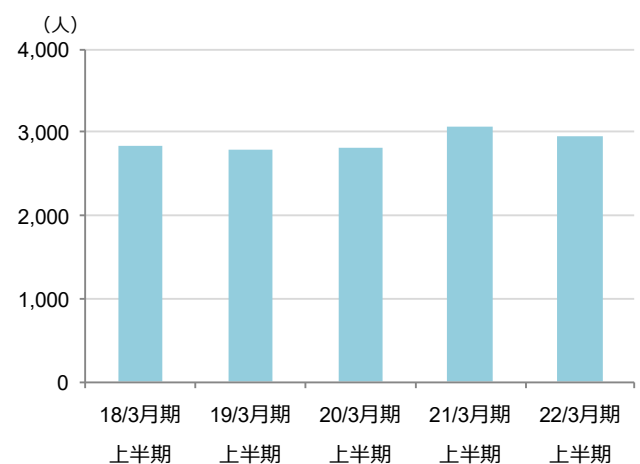
配当金総額/配当性向



株価収益率 (PER)



株主数



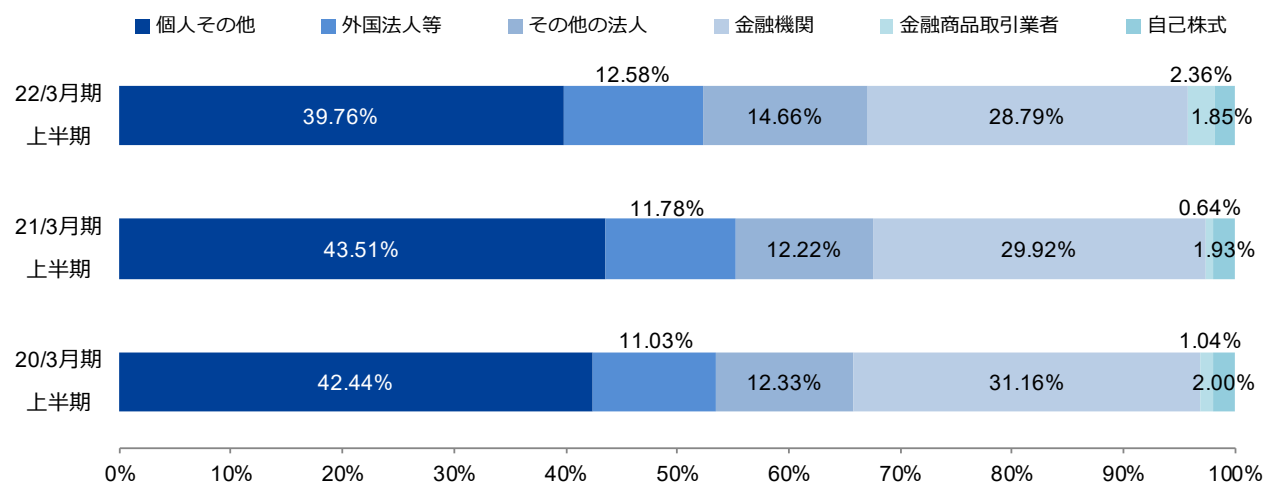
大株主の状況

2021年9月30日現在

上位10名	所有株式数 (株)	所有株式数の割合 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	966,500	10.92
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	619,200	7.00
有限会社スタニイ	495,250	5.60
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	350,000	3.95
萩原智昭	338,746	3.83
株式会社三菱UFJ銀行	232,500	2.63
名古屋中小企業投資育成株式会社	230,000	2.60
公益財団法人萩原学術振興財団	230,000	2.60
萩原電気従業員持株会	207,175	2.34
三井住友信託銀行株式会社	178,000	2.01

注：所有株式の割合 (%) は、自己株式 (167,088株) を控除して計算しております。

所有者別株式保有の状況



株価及び出来高の推移



先進エレクトロニクスで未来を創造するソリューションデザインカンパニー

『モビリティ社会』の未来と、『製造業のものづくり』の未来に対して、デジタルトランスフォーメーションで新しい価値をデザインし、持続可能な社会に貢献する企業グループを目指します。

私たちの企業活動のベースにあるのは、「つねにお客さまの視点に立つ」というスタンス。お客さまのニーズに応えるだけでなく、商社の情報力を活かし、お客さまの期待を超える提案を行い、確かな技術力とノウハウを駆使して、ベストソリューションを提供してきました。

萩原電気グループは一丸となって、技術系商社としての役割・使命

を果たし、豊かな社会の発展に貢献していくために、デバイス事業、ソリューション事業および海外展開を技術基盤が支え、各事業はもとより、事業の垣根を越えたソリューションを創出することで、新たな付加価値を生み出し、あらゆる領域へと活躍の舞台を広げていきます。



デバイス事業 先進技術で豊かな暮らしを支える

先端エレクトロニクス技術と物流のサービスで
お客様と共に進化する

デジタル革命はついにクルマの形を変え始めました。
私たちは長年の自動車産業の経験を礎に新しいサービスの提供を通じてお客様の課題解決に貢献します。

海外展開 お客様のグローバル化を支える

グローバルでの価値提供
～お客様の海外現地事業拡大、ローカル企業の発展に貢献～

モノづくりのグローバル化を支えるため、萩原電気グループでは積極的な海外展開を推進しています。現在、日本を起点に北米・欧州・アジアの世界4極でのネットワークを構築。現地拠点を中心にグループのノウハウや資源を活用し、日本国内と同様、お客様の海外現地生産を支えています。

ソリューション事業 デジタル社会の未来を支える

データとテクノロジーにより変革するデジタル社会へ
DXで未来の可能性を広げる

製造現場で培ってきた計測やIT技術を融合・発展させることでつながる社会を実現し、デジタル社会の未来を支えるDXの実現に向けてソリューションを提供します。

技術基盤 萩原電気のテクノロジーを支える

技術のチカラで社会に新しい価値を創造する

独自の要素技術の開発から応用技術、先端技術まで。新しい技術に挑戦し、新たな可能性と多様な機能を追求していきます。増え続けるさまざまな業種の市場に応えるとともに、萩原電気グループの事業を支える「技術力」は社会のさまざまな分野で新しい価値を創造します。

デバイス事業

先端エレクトロニクス技術と物流のサービスで お客様と共に進化する

デジタル革命はついにクルマの形を変え始めました。
私たちは長年の自動車産業の経験の礎に
新しいサービスの提供を通じてお客様の課題解決に貢献します。

事業領域

最先端のデバイスソリューションで、従来の概念を超えた未来のクルマ社会に貢献



クルマの先端性を支える

半導体・電子部品

クルマの安全で快適な走りを支え、利便性を追求する多彩な電子デバイスを取り扱います。最先端技術を手掛けるスペシャリストによる、カスタム製品やオリジナル製品の開発も可能です。

組込ソフト開発

急速なカーエレクトロニクス化に伴い、より高性能なマイコンが必要となってきました。マイコンの性能・品質を向上させるソフトウェアの開発も手掛けています。



産業分野から進化を支える

半導体・電子部品

自動車の製造など生産現場のオートメーション化だけでなく日常生活においても自動・電動化が加速。それらを支える電子デバイスを多彩に取りそろえ、さまざまな分野のニーズにスピーディーに対応します。

デバイス事業の特長

1. クルマの萩原

中部圏を中心とした自動車業界で豊富な実績

萩原電気グループが拠点を構える名古屋は、世界トップクラスの自動車メーカーや自動車部品メーカーが立地する環境です。創業以来、この中部圏に根づいたビジネスを展開するとともに、自動車業界との確かな関係性を構築。長年培ってきた信頼関係を活かし、最新の情報や業界の動向、さらにはクルマの未来を創造する最先端の技術などを蓄積しています。

2. 解決力の萩原

世界的大手や成長メーカーとの多彩なパートナーシップ

お客さまの抱える課題を最適なデバイスソリューションで解決すべく、多彩なパートナーシップを展開しています。お付き合いの長い世界的ブランドを中心に、次世代を担うメーカーとも新たに提携を進め、より多くの商材や最先端技術を集約。それらをコーディネート&ベストチョイスすることで、高い解決力を実現しています。

3. 技術力の萩原

ハード・ソフトウェア開発、EMS・ODMへの取り組み

複数の機能を集積したLSIなどの半導体が主流となってきた近年、機能開発面でのサポートにも萩原電気グループの技術力が活かされています。また、汎用品にプラスアルファの機能を搭載することで、お客さまのニーズに適うオリジナル製品の製造も可能。EMS・ODMにも高い実績があり、ハードウェアの性能を引き出すためのソフトウェア開発も手掛けています。

4. 社会に広がる萩原

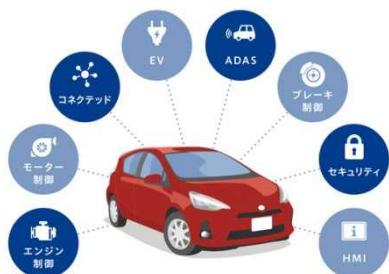
産業・ロボット・住宅設備・介護分野など幅広い領域

FA（ファクトリーオートメーション）化が加速する製造現場はもちろん、住宅設備や介護分野にも萩原電気グループのデバイスソリューションが活かされています。私たちの生活をより便利にしてくれる自動化や電動化を、最先端の電子部品商材と提案力で支えています。

デバイス事業

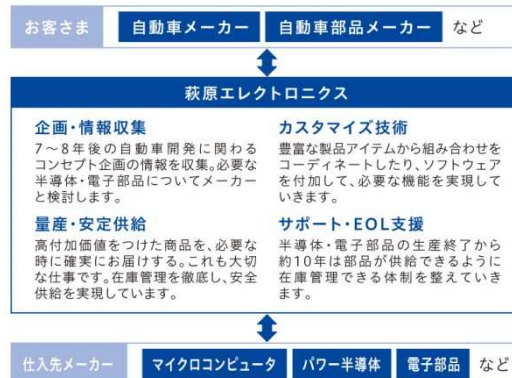
車載デバイス

豊富な商材と優れた技術でクルマの先端技術を支える、
萩原の半導体・電子部品供給ビジネス



クルマには走る・曲がる・止まるという基本的な性能の他に、アイドリングストップなどのエンジン制御やオートマチック、パワーウィンドウなど様々な電子制御の機能が搭載されています。また、ハイブリッドやEV、車線維持支援システムなどの先進技術の発展とクルマの性能向上には、電子制御するコンピュータ技術の進化が欠かせません。その電子制御機器に搭載される半導体や様々な電子部品を車載デバイスといえます。

私たちのビジネス



組込ソフト開発

車載デバイス・情報機器の性能を向上させ
EV・ADAS（先進運転支援システム）の発展に貢献する
ソフトウェア開発技術



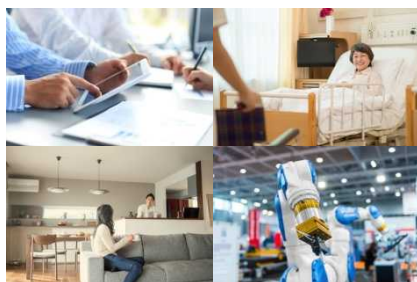
EVや自動運転などのADAS（先進運転支援システム）の進化に伴い、クルマの制御システムのコンピュータ化が加速しています。また、一つのマイコンで複数の制御機能が求められる中、高度な機能を付加することができる萩原電気グループのソフトウェア開発の技術が重視されています。

私たちのビジネス



産業・社会インフラデバイス

広がるニーズをいち早くキャッチ。
豊富な半導体・電子部品アイテムと技術の力で、
製造現場や生活をもっと便利に



産業ロボットや製造現場をはじめ、私たちの生活の中でも、ますます電動化が進み、便利な時代になっています。自動化や電動化で重要な役割を果たすのが、電子デバイス。萩原電気グループは産業分野から生活空間など広く社会に使用される産業・社会インフラデバイスの実績も豊富です。長年培ってきた実績と技術力を駆使したスピード対応で、様々な分野のニーズに応えています。

私たちのビジネス



取り扱い製品



写真提供：ルネサス エレクトロニクス株式会社
マイクロコンピュータ



写真提供：ルネサス エレクトロニクス株式会社
SoC



写真提供：ルネサス エレクトロニクス株式会社
パワー半導体



写真提供：ニチコン株式会社
アルミニウム電解コンデンサ



写真提供：Tianma Japan 株式会社
液晶ディスプレイモジュール

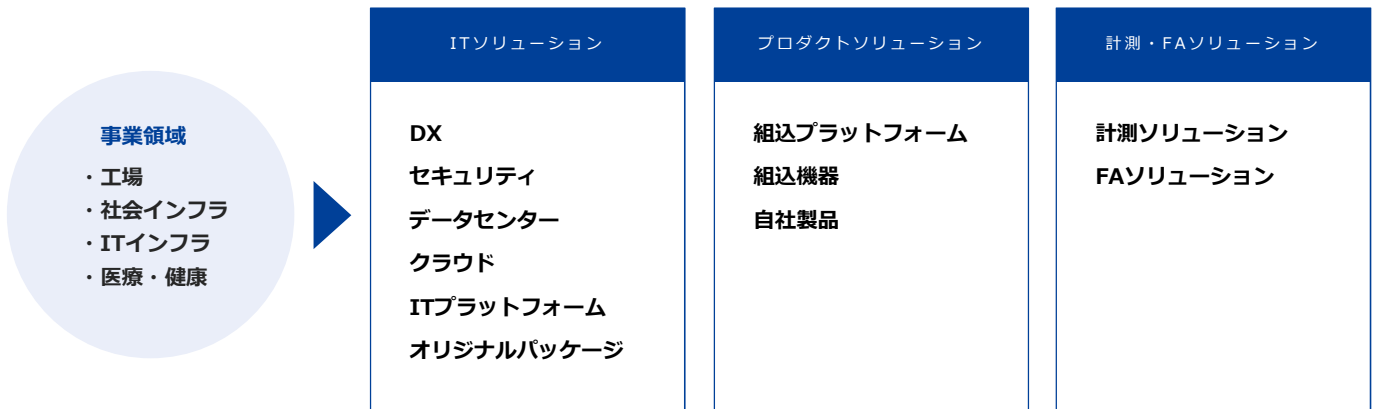
ソリューション事業

データとテクノロジーにより変革するデジタル社会へ

DXで未来の可能性を広げる

製造現場で培ってきた計測やIT技術を融合・発展させることで、つながる社会を実現し、デジタル社会の未来を支えるDXの実現に向けてソリューションを提供します。

あらゆる領域に対応するソリューション



ソリューション事業の特長

1. 商社機能とメーカー機能

多彩なメーカーとのパートナーシップと自社のメーカー機能

長年お付き合いのある大手メーカーはもちろん、海外の有カメーカーとも積極的に連携。最先端の技術や豊富な商材から、お客さまのベストバイを実現します。また、自社でメーカー事業を展開し、オリジナル製品を開発・生産。高い品質と、きめ細かな対応で課題を解決いたします。

2. 産業分野で実績

自動車業界など中部圏を中心とした生産現場で豊富な実績

世界トップクラスの自動車メーカーや自動車部品メーカーが生産拠点を置き、工作機械など生産設備に関わる企業も多数、事業を展開している中部圏。その中心、名古屋に本社を置く萩原電気グループは、生産現場に関わるビジネス実績が豊富です。その実績を礎に、ITやセキュリティなどさまざまな分野を支える、領域に捉われない幅広いソリューションを手掛けています。

3. 先見性と先手

常に新しいもの・トレンドを手掛けてきた技術力

PC・サーバの販売からネットワーク、ITプラットフォーム構築への広がりをはじめ、モデルベース開発に対応する計測ソリューションなど、常に最先端の技術やトレンド技術を取り入れてきました。確かで豊富な技術リソースを活かし、これからも次世代を担う技術に挑戦し続けます。

4. DXを推進し新たな価値創造

データを活用したDXファクトリー統合サービス市場で新たな価値を提供

IT・組込機器・計測などFA（ファクトリーオートメーション）の実績を活かし、さまざまな機械やモノからデータを取り込むことが可能です。集積したデータを有意義な情報に処理し、DXを推進することで新たな価値創造をおこないます。

ソリューション事業

ITソリューション

DX

製造現場におけるスマート化、可視化を行い、生産性の向上を実現するソリューションを提供いたします。

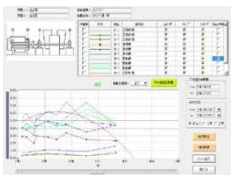
どの領域からでもご提案可能です。



ものづくりDXソリューション紹介

萩原テクノソリューションズは、デジタル技術を活用し、お客様の工場におけるDXをサポートいたします。

解析結果見える化



Product IoT Monitor

工場設備見える化



Industry IoT Monitor

工場ライン見える化



In-Line IoT Monitor

セキュリティ

最適なセキュリティソリューションのご提案により、サービス・ハードウェア・ソフトウェアを融合させ、お客様の情報セキュリティ対策強化を実現いたします。



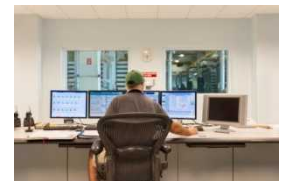
情報セキュリティ



プラットフォームセキュリティ



エンドポイントセキュリティ



工場セキュリティ

プロダクトソリューション

自社製品

産業機械ロボットや自動機械などに組まれる高品質・高耐久性に優れた産業用コンピュータや情報プロダクトを自社で開発・生産。販売・サービスまで一貫して愛知の自社工場からご提供。安心と信頼の長期安定供給で、さまざまな分野のお客様に40万台以上の納入実績があります。



ボードコンピュータ

組込コントローラ

パネルコンピュータ

IoT製品

EMS・ODM(開発・製造受託サービス)

回路設計	ソフト開発	機構設計	資材調達
実装	検査	出荷	メーカー保証・フォロー

組込プラットフォーム

お客様が構築される生産システムやビルセキュリティシステム等の情報プラットフォームにおいて安定稼動を実現させるべく、自社での高度なプラットフォーム構築技術や協業するパートナーとのスキームによるネットワーク構築・保守サポートにて、堅牢性の高いシステム作りをご提案いたします。24時間365日連続稼動のシステム構築や、海外でのシステム構築も支援いたします。

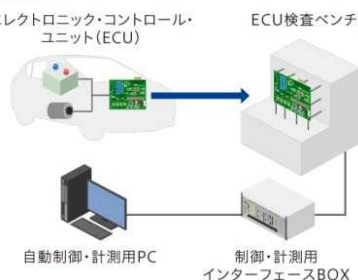


計測・FAソリューション

計測ソリューション

長年、産業用コンピュータを開発・製造してきたノウハウと、ナショナルインスツルメンツ(NI)製品をベースにした、試作評価、耐久試験、生産ラインにおける品質検査のカスタム検査ベンチをご提案します。

ECU検査ベンチ



EMC試験

自動車電装品における、電磁両立性を実験・評価するための試験システムおよび試験環境をご提案します。

無線機評価

無線機器のアンテナ指向性や輻射電界強度等の測定環境・設備をご提案します。

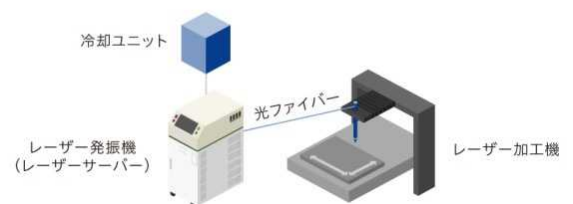
特殊計測

国内外を問わず最先端の計測機器を提案します。(例:リアルタイム性とローコストを実現した3次元モーションキャプチャ、PCボード計測技術による周辺機器の制御と周辺環境データの統合計測システム、MBDに必要な開発ツール、シミュレータ)

FAソリューション

半導体、各種センサー製造における微細加工用レーザー装置を取り扱っています。生産ライン向けにはハンドラー機構を含め、TOWAレーザーフロントとの連携による保守対応が可能です。

レーザー溶接装置



海外展開

グローバルでの価値提供

～お客様の海外現地事業拡大、ローカル企業の発展に貢献～

モノづくりのグローバル化を支えるため、萩原電気グループでは積極的な海外展開を推進しています。現在、日本を起点に北米・欧州・アジアの世界4極でのネットワークを構築。現地拠点を中心にグループのノウハウや資源を活用し、日本国内と同様、お客さまの海外現地生産を支えています。技術者の常駐化をはじめ、現地での開発支援体制の強化を図っており、新規商材、新ビジネスを取り込みながら、お客さまとともにグローバルマーケットの創出、拡大に貢献いたします。

海外ビジネスの取り組み

- 日系企業のグローバルニーズに対応
- 現地ニーズに応じた最適なソリューション提案
- 海外ビジネスパートナーの拡大
- ビジネスの現地化
- 開発・設計の強化
- 新たなマーケットの創出



技術基盤

技術のチカラで

社会に新しい価値を創造する

独自の要素技術の開発から応用技術、先端技術まで。新しい技術に挑戦し、新たな可能性と多様な機能を追求していきます。増え続けるさまざまな業種の市場に応えるとともに、萩原電気グループの事業を支える「技術力」は社会のさまざまな分野で新しい価値を創造します。

萩原電気の強み



萩原電気グループの強みは、お客さまの課題や困りごとを解決へと導く技術力にあります。その保有技術を大きく分けると「支援技術」、「開発技術」、そしてそれらの源泉となる「要素技術と経験」です。エレクトロニクス製品の高度化・複雑化が加速する中、取り扱い製品はもちろん、お客さまの事業分野での高い専門知識を活かした、技術面でトータル的にサポートできる力が、求められています。私たちは築きあげてきた実績や豊富な経験をもとに、お客さまと仕入先との橋渡しの役割を担っていきます。お客さまの製品プロセスを支え、ビジネスを成功へと導いていく。その解決力こそ、萩原電気グループの技術力であり、グループ全体の横断的な基盤として、さらに強化させていきます。

保有技術

支援技術の一例

- 部品選定の支援**
 - 仕入先メーカーの新製品のご紹介
 - 製品の最新情報や技術トレンドのご提供
 - 新製品の評価、部品の比較評価のご支援
- お客様の開発支援**
 - 組込システムの先行開発のご支援
 - 組込SWやHWの量産開発のご支援
 - IT等のシステム構築支援 (SIer)
 - 開発・評価のできる協力会社のご紹介
- 不具合解析支援**
 - 不具合の仕分け、再現試験や解析のご協力
 - 仕入先メーカーとの連携による不具合解析のフォロー

開発技術の一例

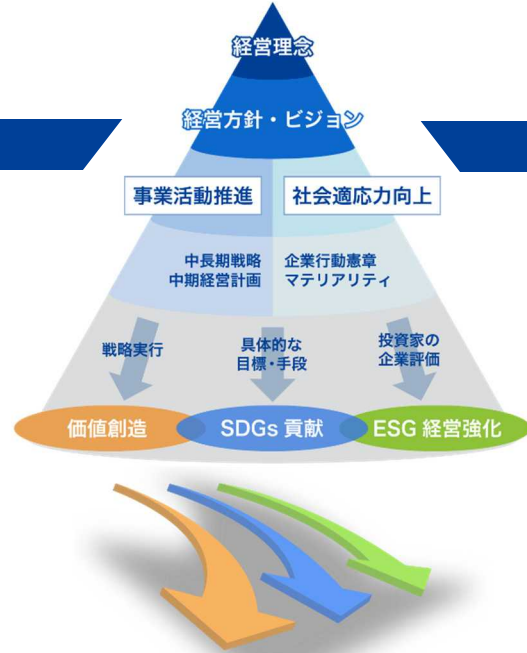
- 組込システムの受託開発**
 - 組込ソフトウェア開発や評価
 - 組込システムのハードウェア開発
 - システムLSI、ICの回路設計や評価
- ITソリューションに関連した受託開発**
 - IoT関連のシステム開発
 - 生産管理等のシステム開発
 - 各種FAや計測システムの構築
- 自動運転をはじめとする評価環境構築や要素開発受託**
 - 走行映像の取得やデータへのタグ付け
 - 電子ミラーや周辺監視への応用ができる画像処理
 - 新しいアルゴリズムの組込システム実装

先進エレクトロニクスで未来を創造するソリューションデザインカンパニーとして、
SDGs（持続可能な開発目標）の達成と社会的課題の解決を通じ、
持続可能な未来の実現に挑戦し続けます

サステナビリティ方針

新たな価値への「挑戦と創造」を、
「社会・地球の持続的な発展」の原動力に

持続可能性の向上に対する企業の取り組みに期待と注目が集まり、企業の社会への適応力がますます求められています。萩原電気グループは「創造と挑戦」という理念のもと、中長期視点での事業活動の推進と社会適応力の向上によるサステナビリティ経営を推進していきます。SDGsやESG（環境・社会・ガバナンス）の意識を高めながら、新たな価値の創造に努め、優れた商品・製品やサービスを社会に提供し、企業成長の実現と社会の持続的成長に貢献し、社会から必要とされる存在であるよう努めています。



サステナビリティ経営推進

マテリアリティとSDGs

萩原電気グループは、マテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じたSDGsの達成への貢献を目指してまいります。

マテリアリティ	主要テーマ	SDGs
技術革新への対応による顧客価値向上	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全・快適な自動車社会の実現への貢献 先端IT技術による顧客環境の生産性や安全性向上の実現に貢献 事業基盤やパートナーシップを活かした新規領域や新事業へのチャレンジ 	
ガバナンスと組織基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> 資本政策・財務戦略の強化 IR活動充実（＝ステークホルダーエンゲージメント推進） コーポレートガバナンスの強化 環境経営の促進 	
人材の活躍推進と育成	<ul style="list-style-type: none"> 従業員エンゲージメント向上の推進 	
社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献の施策拡大と活動活性化 	

萩原エレクトロニクス株式会社

商号	萩原エレクトロニクス株式会社 HAGIWARA ELECTRONICS CO., LTD.
所在地	名古屋市東区東桜二丁目2番1号 高岳パークビル
代表者	代表取締役社長 副島 剛
設立年月日	2017年5月1日（2018年4月1日営業開始）
資本金	13億1千万円
事業内容	集積回路・半導体・一般電子部品の販売



萩原テクノソリューションズ株式会社

商号	萩原テクノソリューションズ株式会社 HAGIWARA TECHNO SOLUTIONS CO., LTD.
所在地	名古屋市東区泉二丁目28番23号 高岳KANAMEビル
代表者	代表取締役社長 鹿島 千寿
設立年月日	2017年5月1日（2018年4月1日営業開始）
資本金	3億1千万円
事業内容	電子機器の販売及びFA機器の製造販売



萩原北都テクノ株式会社

商号	萩原北都テクノ株式会社 HAGIWARA HOKUTO TECHNO CO., LTD.
所在地	名古屋市東区東桜二丁目2番1号 高岳パークビル
代表者	代表取締役社長 重信 功徳
設立年月日	2018年4月2日
資本金	4,500万円
出資比率	萩原エレクトロニクス株式会社 66.56% 北都システム株式会社 33.44%
事業内容	車載関連のソフトウェア検証・開発に関する 受託・サービス事業





IRお問い合わせ

萩原電気ホールディングス株式会社
総務部

TEL: 052-931-3511

FAX: 052-931-9414

E-mail: ir@hagiwara.co.jp

<https://www.hagiwara.co.jp/>